

K A W A K A M I D A M 2010
川上ダム通信 1 月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

川上ダム建設事業の状況報告

新年明けましておめでとうございます。

平素から川上ダム建設事業につきまして、ご支援、ご協力をいただき、誠に有り難うございます。心からお礼申し上げます。

昨年来の全国のダム事業を取り巻く情勢と川上ダム建設事業の状況について、ご報告致します。

全国のダム事業につきましては、「できるだけダムにたよらない治水」へ政策転換するという国土交通省の考えに基づき、事業実施中のダム事業を「検証の対象とするもの」と「事業を継続して進めるもの」とに区分した上で、検証の対象となるダム事業については、平成21年12月3日に国土交通省に設置された「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」で平成22年夏頃を目途に、「中間とりまとめ」として示される予定の新たな基準に沿って、個別ダムの検証を行うこととされました。

全国のダム事業のうち、①ダムに頼らない治水対策を検討中のもの、②既存施設の機能増強を目的としたもの、③平成21年11月までにダム本体工事の契約を行っているもの、これら3つの項目に当てはまらないものは全て検証の対象とされたことから、川上ダム建設事業につきましても「検証の対象となるダム事業」に区分されました。川上ダムは現在、転流工工事の段階にありますが、検証の間は新たな本体工事の段階には入らないこととされています。

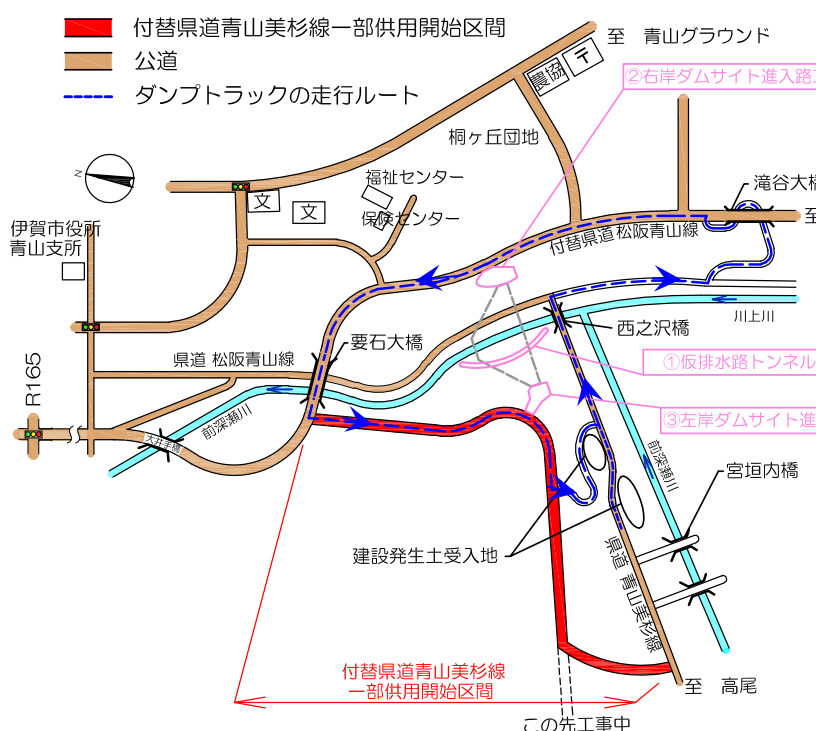
この方針により、昨年12月末に決定した平成22年度予算では、検証の対象となるダム事業については、地元住民の生活設計等への支障も配慮した上で、各事業において現段階を継続する必要最低限の予算が計上されました。

このような情勢のもと、川上ダムにつきましても、平成22年度は有識者会議の議論を見守りながら、国土交通省の方針を踏まえ、適切に検証作業を進めるとともに、現在実施している転流工や付替道路の工事等を継続して実施して参ります。

本年も川上ダム建設事業につきまして、ご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【所長 及川拓治】





関西支社安全協議会（川上ダム）

平成21年12月16日、川上ダム建設所にて関西支社安全協議会が開催されました。

関西支社安全協議会は関西支社が主催となり、四半期に1回、管内の事務所（計11事務所）の中で実施されている工事を対象として、工事現場における危険な箇所等の確認・解消のための安全パトロールや安全に関する討議・情報交換等を行うものです。川上ダム建設所でも、「事業による労働災害を防止し、業務を安全かつ円滑に推進する」ために、毎月1回安全協議会を開催しておりますが、関西支社長を会長とし、協議会員が各事務所の所長で構成されている関西支社安全協議会は、多様な視点からチェックがなされ、より一層の安全対策の徹底を図るために有効なものです。

現在、川上ダムでは、仮排水路トンネル工事等ダム準備工事を実施しております。安全協議会当日は、この内、仮排水路トンネル工事を対象に安全パトロールを行いました。当該工事は、当日までにトンネルの掘削を15m程度まで進めており、工事監督員、現場代理人による工事概要、安全・環境対策の説明ののち、トンネル内や、施工機械、設備（バッチャープラントなど）の安全確認を行いました。粉じん対策など隧道作業における安全衛生対策や、冬期特有の降雪や凍結による災害防止に対する確認を受け、より一層の安全対策を図っていく上で意義あるものとなりました。今後も安全第一に無事故であるよう、活動に取り組んでいきます。

【工務課 鈴木弘二】



仮排水路トンネル工事現場

関西管内技術伝承会

平成21年12月16日（水）、川上ダム建設所ふれあいホールにて、関西管内技術伝承会を実施しました。関西管内の各事務所から40名以上の職員が参加しました。

講師には、加藤剛四郎氏（元水資源開発公団試験所所長）を迎え、「ダムコンクリートの設計・施工技術」と題して、講演していただきました。ダムコンクリートの特徴やダムコンクリートの配合設計法といった基礎的なことから、合理化施工の工程管理といった施工に関する新たなものまで様々な内容でした。

次に、関西支社原支社長による講演「沢田敏男先生の教え「科学技術と芸術の融合」」が行われました。沢田先生が平成17年に文化勲章を受賞され青山町で講演された際の講演の内容などを説明し、沢田先生の教えを参加した職員に伝えました。

最後に、木津川ダム総合管理所神矢所長により、台風18号（平成21年10月8日）における木津川上流ダム群の洪水調節について講演が行われました。雨の状況、ダムの操作、地元自治体である名張市とのやりとりなどを時点ごとに説明したものでした。

今回の技術伝承会は、建設から管理にわたり今後の機構業務の参考になる幅広い内容でした。

【環境課 鷲尾盛士】



技術伝承会

事業説明会～上下流地区～

平成21年12月22日（火）に伊賀市種生の青山ハーモニー・フォレスト学習棟にて、上下流地区を対象に川上ダム事業説明会を開催させていただきました。

説明会では川上ダム建設事業の現状について報告するとともに、現在進めている転流工工事等の状況や付替県道青山美杉線の工事状況等を説明させていただきました。これに対して、出席者の方々からは川上ダムの状況についてのご質問や、付替県道青山美杉線の日も早い一部供用開始を望むなどのご意見を頂きました。

今後も地元の皆様にご意見を賜りながら、ご期待に応えられるよう業務を進めて参ります。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。
【第二用地課 鈴木繁】



上下流地区説明会



説明風景

EVENT

八日戎

蛭子神社の祭礼。七福神が町中を練り歩くほか、山の幸、海の幸の物々交換の名残といわれるハマグリ市が多くの露店と共にあります。

○日時／2月7日（日）12時頃、2月8日（月）9時頃

○場所：蛭子神社 近鉄名張駅下車徒歩10分
名阪国道・上野インターから車20分

○問い合わせ／社会法人名張市観光協会 TEL 0595-63-9087

兼好遺跡公園の梅（花）

徒然草で有名な吉田兼好が葬られた地として現在は兼好遺跡公園となっており、園内の梅の開花シーズンには、観光客で賑わう。

○日時／2010年2月下旬～3月上旬

○場所：兼好塚 近鉄青山町駅から高尾行きバス15分種生支所下車徒歩30分

○問い合わせ／伊賀市青山支所産業建設課
TEL 0595-52-3220

編集後記

明けましておめでとうございます。

寒い日が続いておりますが、健康と安全に気をつけてお過ごし下さい。本年も、川上ダム建設所職員一同よろしくお願いいたします。

〔広報誌発行事務局〕

編集長 及川 拓治（川上ダム建設所長）

デスク 吉岡 直也（総務課長）

〃 柳生 光彦（工務課長）

通信記者 竹之内健太（調査設計課）

〃 竹之内律子（総務課）

〃 加藤 晶久（第一用地課）



ISO14001 : 2004
JQA-EM5769

☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
ハガキやメール等でお寄せください。☆☆
◇川上ダム建設所は ISO14001 を取得し、環境保全を推進しています。◇